

在学生7人、卒業生21人が合格

公認会計士試験

三修

毎月1回15日発行 (定価一部90円) 発行所 専修大学広報課 101-8425 東京都千代田区 1-3-8 東神田 03-3265-5819(直)

主なニュース

- 2 商学部会計学科創設40周年記念シンポジウム/記念大会……
- 3 寄稿「サブプライム問題」発金融危機を考える
- 4 西岡幸一経済学部教授・田中隆之経済学部教授……
- 5 今村法律研究室シンポ「裁判員制度で、冤罪は防げるか」……
- 6 オール専修で応援に行こう! 「箱根駅伝特集」……
- 7 石巻専修大学 本番に向け準備万全! 3年次生対象進路ガイダンス……
- 8 北海道短大 団体戦で準優勝(北海道学生弓道新人戦大会)……
- 9

テレホンサービス
(お知らせ・緊急連絡)
0180-994-994
本紙へのご意見をお聞かせください
koho@acc.senshu-u.ac.jp

大学入試センター試験利用
前期入学試験
スカラシップ・全国入学試験
一般前期入学試験

2009年
1/5月

**出願受付
スタート!**
出願締切日は、試験制度により異なりますのでご確認ください。
問い合わせ先
入学センターインフォメーション
[神田] ☎03(3265)6677
[生田] ☎044(911)0794

2008年度の公認会計士試験合格者が11月18日(12月10日現在)現在、計11,448人(うち在學生は3,799人)と発表された。うち在學生は3年計1講座の受講生にインテグレーションした。

旧司法試験は2人

2008年度旧司法試験年度1人が合格した。試験の第二次試験最終合格者全体の合格者は1,444人(同248人)、合格率は0.79%(同1.06%)。大学の合格者は2人(前年度0人)となった。

「考える」作業を大切に

阿部 裕泰さん(商3) 「で取り組んで3年次に必ず合格する」と決意しました。試験勉強は、論文式への対策を中心に、「考える」作業を特に大切にしました。すぐに成果は実感できませんでしたが、問題を解き直した時や試験直前に出会う、「目指すなら本気」は、成長の手ごたえをつか

効率より勉強量で勝負

岩瀬 義幸さん(商3) 高校時代から得意科目だった簿記を生かす道として、公認会計士試験を目標に、会計士講座が充実している専攻に入りました。計算科目に比べて理論科目が苦手。その克服のため

08年度「旧司法試験」「公認会計士試験」合格者

- 北海道大 丸山知子さん(平9経営中退、瓶長幸ゼミ、北海道札幌北高)
- 札幌北高
- 阿部裕泰さん(商3、計修会、愛媛県宇和島東高)
- 岩瀬義幸さん(商3、計修会、千葉県銚子商高)
- 橋本裕さん(商3、計修会、茨城県土浦第三高)
- 尾花透さん(商3、計修会、東京都赤坂高)
- 笠原由覚さん(経営4) 資格を身につけて仕事をしたいと高校時代にキャリアアップを立、会計士講座が充実している本学に入
- 佐藤甲斐さん(商4) 昨年の短答式は得意科目で得点を伸ばせず、わずかな差で合格できなかった悔しさをバネに、今年は余裕をもって試験に臨もうと、学習方法を工夫しました。毎日、全科目の問題に目

独自の勉強法編み出す

橋本 裕さん(商3) その上で、インプット(勉強)と直後のアウトプット(答練)をし、その結果をなるべく多く蓄積していく。「一回で試験に合格すると周りに宣言。しかも、授業はおろそかにしたくな

「計修会」仲間と励まし合う

尾花 透さん(商3) チャレンジし、励まし合っ

早い時期に目標設定する

笠原 由覚さん(経営4) 資格を身につけて仕事をしたいと高校時代にキャリアアップを立、会計士講座が充実している本学に入

昨年の「悔しさ」をバネに

佐藤 甲斐さん(商4) 昨年の短答式は得意科目で得点を伸ばせず、わずかな差で合格できなかった悔しさをバネに、今年は余裕をもって試験に臨もうと、学習方法を工夫しました。毎日、全科目の問題に目

「KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミー」が開講

あなたの力を川崎の地域づくりに

3カ月間の大学院レベルの講義と地域の課題解決に取り組むNPOでの現場体験などを通して、コミュニティ・ビジネス(注*)のリーダーを育成するこのプログラムは、全国でも先駆的な取り組み。

文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択された「KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミー」が31人の1期生を迎えスタートした。

アカデミー長の徳田教授

副アカデミー長の神原教授

市民の生きがいに「新たな風」を

11月29日に生田キャンパスで行われたオープンキャンパスでは、アカデミー長の徳田賢二経済学部教授が「皆さんの多彩なキャリアや経験は、川崎市の財産。アカデミーで得る知識と人的ネットワークを川崎の地域づくりに生かしていただきたい」とあいさつした。君嶋武胤・川崎市産業振興財団理事長(アカデミー特別顧問)は特別講演で、「アカデミーが先導役となり、市民の生きがいづくりや市の産業発展、大学と地域の連携など、多くの分野で新しい風を起すきっかけになることを期待する」と述べた。

副アカデミー長の神原理商学部教授をコーディネーターに行われたパネルディスカッション

▲ 副アカデミー長の神原教授をコーディネーターに行われたパネルディスカッション